

北部の授業改善「ひなたサポート」通称「ひなサポ」

北部教育事務所は全ての先生方の応援団です！

好評につき、今年度も「ひなた+（プラス）」を実施します。
 ここで朗報です！先生方からいただいた声をもとに、マンツーマンの支援だけでなく、チームを組んで授業力向上（授業改善）に取り組める「ひなたワンチーム」を新たに追加します。



あなたの悩みや課題は何？



- 教材研究の仕方
- 授業づくり
- 指導案づくり
- 教科指導等
- ICT活用
- 学年・学級経営
- 特別支援教育
- 生徒指導
- その他



あなたは、どちらのサポート方法を希望しますか？
 迷われている方は、北部教育事務所まで遠慮なくご相談ください。

ひなた+（プラス）

ひなたワンチーム

それなら〇〇はどうですか？
 一緒に考えてみましょう！



〇〇で悩んでいます…
 何かいい方法はないですか？

→詳しく知りたい方は【説明1】へ

私は〇〇を実践したことがありますよ。

私も一緒にやりたいです！
 いいですねー！



私は〇〇をしてみたいのですが…

指導教諭に聞いてみたいです。

→詳しく知りたい方は【説明2】へ



- マンツーマンによる支援
- 一人一人の目標や悩みに寄り添う支援
- 継続的な支援



- チームによる学びを支援
- 「ひなたの学び」を体現
- 授業実践や好事例等を共有

期待される効果

◎キーワードは「つながる」



- 教師同士がつながる。指導教諭や指導主事とつながる。
- 授業改善に係るヒントや素晴らしい実践事例とつながる。
- 「ひなたの学び」により子どもと教師が笑顔と信頼でつながる。



北部の授業改善サポート「ひなた+（プラス）」

「主体的・対話的で深い学びを日頃の授業で実践できたらいいな…」
 「学ぶ意欲を引き出す授業がなかなかできなくて悩んでいます…」

そんなあなたの向上心や悩みに対し北部教育事務所の
 指導主事等が個別に親身にサポートします。



支援の内容

3回程度の〔授業参観＋FB〕で授業を支援します！



事前ミーティング



授業参観



フィードバック

ポイント1 「マンツーマンによる支援」

授業参観とフィードバックをセットにしたマンツーマンによるサポートです。授業づくりや教材研究についての相談など、日々の授業改善に直結する具体的な支援を行います。指導主事等が先生方のもとにうかがいますので、職場を離れることなく都合のよい日時に支援を受けることができます。

ポイント2 「一人一人の目標や悩みに寄り添う支援」

学校単位ではなく個人にスポットを当てたサポートですので、お一人お一人の悩みや目標に寄り添ったサポートが可能です。「一人ではちょっと心細い」という場合は、同僚の先生と一緒に申し込まれてももちろんOKです！

ポイント3 「継続的な支援」

支援の回数は決まっていますが、支援の効果を持続させるためにも継続的にかかわらせてもらいます。回数や日時は相談しながら無理なく進めます。

指導案は求めず、授業メモなど必要最小限の資料にとどめ、実を取る取組を目指します。申込みの手続き以外、支援を依頼する際の面倒な手続きもありません。



今年度も、たくさんの先生方の申込みをお待ちしています！
 なお、申込み状況によっては、一次申込みの段階で締め切らせていただく場合があります。ご了承ください。

北部の授業改善サポート **NEW** 「ひなたワンチーム」

同じ志や悩みをもつ先生方を北部教育事務所がつなぎ役となってチームを編制し、情報交換や授業づくりをとおして、仲間とともにスキルアップできる機会を提供します。

1チーム、3人から5人で編制します。
一人での申込みOK！同僚の先生との申込みもちろんOK！



支援の内容

「ひなたの学び」サイクル

このサイクルにより、教師自身が主体的・対話的で深い学びを体現しながら、チームで授業改善に取り組みます。

【活動イメージ】

BEFORE ミーティング

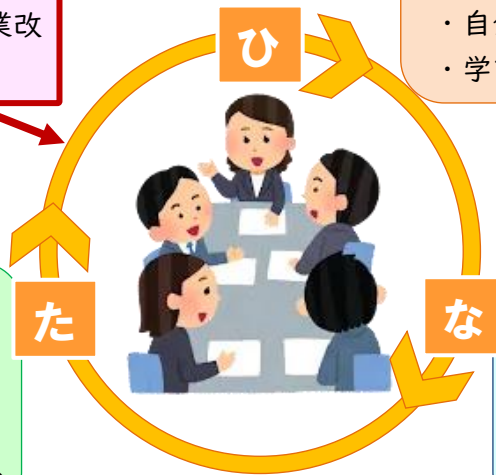
「ひとりひとりが 問いをもち」

- ・悩みや課題の共有
- ・自分の課題を焦点化
- ・学びの見通し、計画

AFTER ミーティング

「たしかめよう 深く考える力」

- ・仲間と深掘り
- ・成果や成長の共有
- ・新たな学びのステージ



授業づくりや 実践研究

「なかまとなって 学び合い」

- ・教材分析、指導案作成
- ・検証授業や模擬授業
- ・講義、演習、情報交換

★主体的に学び続ける教師の姿は、児童生徒にとっても重要なロールモデルです！

ポイント①



先生方の「～したい！」を実現します。

「〇〇な研修がしたい。」 「〇〇先生の話が聞きたい。」
「オンラインで気軽に情報交換がしたい。」
「学年・学級経営等で役立つミニネタが知りたい。」
「研究主任や生徒指導主事として大切なことを知りたい。」
といった、様々な思いに寄り添い、実現（解決）します。

ポイント②



「チームによる学び」をコーディネートします。

先生方の思いを主体に、会をどのように進めるのか、今後どのようなことができるのか等、随時相談にのります。

何か手続きが必要な場合は、基本的には指導主事が行います。

- (例) ・オンラインでの会の運営をお願いしたい。
・指導教諭から学ぶ機会を設定してほしい。
・授業づくりを中心に、全員で実践・検証したい。

北部の授業改善「ひなたサポート」通称「ひなサポ」

〔令和5年度「ひなた+（プラス）」利用者の声〕



普段、同僚の先生方とじっくり授業を考える時間を確保することが難しいため、授業を参観してもらったり、悩みを相談したりできたのは、自分にとって大きなプラスになりました。また、普段意識するように気を付けているものの、学習指導要領を読み込めていない現状があった中で、その読み方を教えてもらえたことは、今後の力になると感じました。ひなた+（プラス）は、利用者の悩みを直接相談できる貴重な機会なので、機会があればまた利用したいです。



まず、指導主事の先生から直接指導してもらえることがありがたかったです。ひなた+（プラス）をはじめた頃の自分の授業は、事前に想定した展開や板書から離れにくい授業だったのですが、後半の授業では、教師と子ども、子ども同士の対話によって柔軟に展開し、そのことが板書にも残っていくような授業に変わってきました。

今回のひなた+（プラス）を通して、授業についてのイメージや視野も広げることができました。



普段は、「こんな授業をやってみたい」と考えていても、誰かにじっくり相談するといった時間は作りにくく、実際に実践にまでは至らないことがありました。ひなた+（プラス）で、指導主事に背中を押してもらうことで、「やってみたいけど、これでよいのだろうか?」と思っていた授業にチャレンジし、客観的に評価してもらうことができました。おかげで、また一つ、自分の実践の幅を広げることができました。

希望者は、管理職の了解を取ったのち、右記リンクまたは二次元コードより北部教育事務所ホームページにアクセスします。

[北部教育事務所
HP\(各種様式等\)](#)



そして、別紙様式「ひなた+（プラス）」申請書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、下記宛てお申し込みください。

ご不明な点は下記連絡先よりお問い合わせください。

北部教育事務所 教育推進担当 原田

〔問合せ先〕 TEL：0982-32-6116

〔申込先〕 FAX：0982-21-8025

メール：harada-kenichi@pref.miyazaki.lg.jp

各学校へ
案内送付

C4th
(学校代表)

リーフレットの
内容を校長に
確認し、校長に
相談

申請書作成

FAXか
メールで
申し込む

申請書内容
を確認し、
支援方法と
担当者決定

担当者が、
校長と本人
に電話で決
定の連絡

担当と本人に
よる打合せ

サポート開始

一次締切り:5月14日(火)

決定通知:5月21日(火)